

琉球大学学術リポジトリ

春植甘蔗の苗の選択

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-06-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 仲間, 操 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/20517



春植甘蔗の苗の選択

春植甘蔗の植付に際し、主として梢頭部苗が用いられるようですが、この慣行の方法に対しては、今少し検討すべき問題が含まれているのではないかと思います。農家にとっては原料茎の収穫に当たって2節でも3節でも多く加えて蔗茎収量を増加させるために、次期新植の春植に梢頭部苗が主体となっていることでしょうか、刈取蔗茎の梢頭部は転化糖の含量が多く、歩留を低下させる原因となりますので、適当なところで切取り、次作苗に利用せねばなりません。

甘蔗の茎は葉を支える茎と穂を支える茎の二つに大別されていますが、生育の初期においては両者の区別は出来ません。出穂していきまるとその区別ははっきりして参ります。即ち葉を支える茎は常に規則正しく生長しますが、穂を支える茎はその上部に於いて変化し茎の頂部に於ける葉鞘は著しく伸長し葉身は逆に短かくなって参ります。普通このように変化した頂部の葉を「花葉」又は「旗葉」と呼んでいます。又穂を支える茎の上部の節間は下部（葉を支える茎）の節間に比較して長いが芽を持たないのが特徴です。

普通私達が春植の梢頭部苗と呼んでいるのは、生育末期に至っても出穂しないで小枝も認められない、短縮した節間に著しく発達した芽を持った頂部です。

そこで筆者は従来の梢頭部苗と次の二段苗、三段苗との間に発芽の時期、発芽歩合などの点で、どんな差異が認められるかについて次の実験を試みた。

実験のあらましとその実験

- A. 品 種 N:Co. 310 P.O.J. 2725
B. 時 期 1961年3月16日（植付）—4月20日
苗は切出し後1日置く
C. 試 験 区 耕種基準に従い1畦に対し梢頭部苗、2段苗、3段苗、各13本の39本を伏込み、その20畦を調査の対照にした。

- D. 調査の方法 梢頭部苗は発芽がおそく、植付後4週目から調査した。
2段苗、3段苗は2週目から調査した。

実験の結果は品種間及び苗の種類によって相当の差異が認められていますが、その概要を申し上げると次の通りです。

1. 両品種共梢頭部苗は発芽がおそく、植付後4週目のときN:Co.310で梢頭部苗31.5%、2段苗98%、3段苗88.2%、P.O.J.2725の場合梢頭部苗13%、2段苗78%、3段苗69%となっている。（1図）
2. N:Co.310の2段苗の発芽が揃った時期、即ち植付後5週目の発芽歩合を見るとN:Co.310は2段苗98.6%に対して梢頭部苗63%、3段苗89.3%となりP.O.J.2725では2段苗80%、梢頭部苗32.6%、3段苗75.7%をしめしている。（2図）
3. 2段苗と3段苗の発芽期の推移を見るとN:Co.310では植付後3週目頃に最も盛んに発芽し、P.O.J.2725では3週から4週目にかけて盛んな状態となり前者よりも発芽期は遅い傾向にあります。（3図）

以上の結果から梢頭部苗は2段苗、3段苗に比較して発芽の状態が可成り劣っている。蔗苗の初期生育の遅速が生長の全過程に大きく影響し、しかも5月から7月にかけて蔗茎の伸長が最も盛んに行われるので、特に春植においては早期発芽と最上の発芽率を保つ必要があります。そのために蔗苗の選択に当たって次の点に注意すべきだと考えます。

1. 一般に成熟末期の蔗茎は梢頭部に近い比較的節間の短い部分の芽子、根帯が著しく発達しているため、その長否を確かめて苗を選定する。青葉部は芽の充実が不十分で発芽は思わしくない。

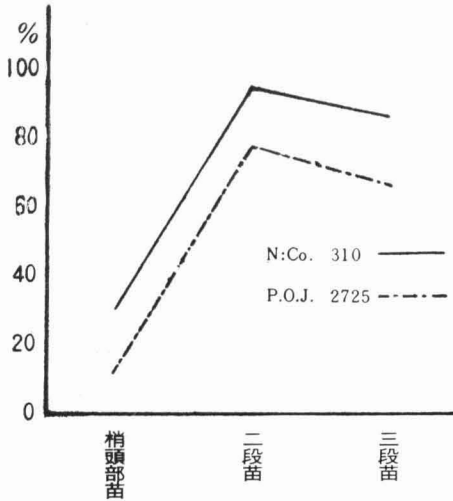
（9ページにつづく）

(4ページの甘蔗苗のつづき)

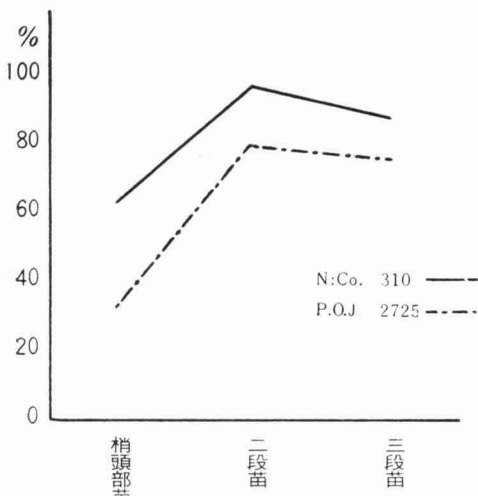
2. 二段苗、三段苗を主として用い 2節苗にして水平植にする。
3. 梢頭部苗は出穂しないものを選び、生長点を中心にして20-25cm位(充実した芽子2-3芽着ける)に切断して苗には供するが、しかしこれは二段苗、三段苗の補足程度にとどめた方がよい。

なお、出穂を始めたものでは穂茎をそのまま苗とするおそれもあるので、これは極力さげねばなりません。穂

(1図) 植付後4週目、梢頭苗調査開始時の二段苗、三段苗の発芽状況



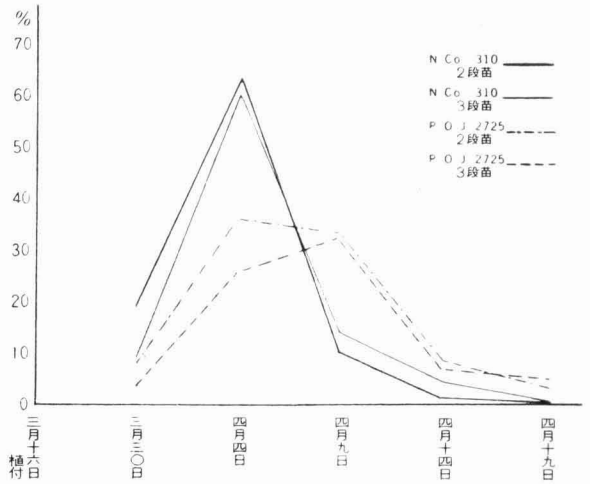
(2図) 植付後5週目までの発芽歩合



茎には芽子がないので、これを植付けると欠株が多くなります。

苗の発芽を良くし、生育をそろえ、単収を高めてゆくためには、今まで述べた点に留意して良苗を選ぶことが大切です。
(仲 間 操)

(3図) 二段苗と三段苗の発芽期の推移



写真・右側の苗は生長点を中心にして25cmに切断した標準苗
左側は穂を支える茎には芽を持たない状態を示した梢頭部

